

令和元年度工事検査結果について

令和元年度に工事検査室が行った工事検査の概要を以下のとおり報告します。

1 対象工事

建設工事請負契約及びこれに準ずる修繕契約の建設工事で、平成31年4月1日から令和2年3月31日までに実施した検査（中間及び出来高検査を含む。）を対象としました。

2 検査件数

(1) 完成検査件数

表-1

単位：件

契約区分 検査種別	市発注 入札	随意契約		計		
		契約金額 130万円超	上下 水道局 発注 入札			
完成検査	R1	111	25	51	5	192
	H30	88	24	58	1	171
一部完成検査	R1	—	—	—	—	—
	H30	—	—	—	—	—
出来高検査	R1	1	—	1	—	2
	H30	2	—	—	—	2
中間検査	R1	14	—	1	—	15
	H30	16	—	4	—	20
合計	R1	126	25	53	5	209
	H30	106	24	62	1	193

(2) 工種別検査件数

表-2

単位：件

工種	完成検査	一部完成 検査	出来高 検査	中間検査	計
土木一式工事	50	—	2	7	59
建築一式工事	23	—	—	7	30
とび・土工・コンクリート工事	13	—	—	—	13
電気工事	9	—	—	—	9
管工事	46	—	—	—	46
ほ装工事	27	—	—	—	27
塗装工事	—	—	—	—	—
防水工事	5	—	—	1	6
機械器具設置工事	2	—	—	—	2
電気通信工事	—	—	—	—	—
造園工事	12	—	—	—	12
さく井工事	1	—	—	—	1
水道施設工事	2	—	—	—	2
消防施設工事	1	—	—	—	1
解体工事	1	—	—	—	1
R1計	192	—	2	15	209
H30計（参考）	171	—	2	20	193

令和元年度の完成検査については、「土木一式工事」「管工事」「建築一式工事」「ほ装工事」が全体の約76%を占めています。

出来高検査は、「大堀川1号雨水幹線工事」「道路築造工事（H29-6）」の2件で、中間検査は、学校建設関連工事が約半数を占めています。

【表－２備考】 工事検査の種類は以下のとおりです。

- ・完成検査・・・工事が完成したとき行う検査。
- ・一部完成検査・・・工事の一部が完成し、契約金額の支払いに関係なく受注者から一部引き渡しを受ける際に行う検査。
- ・出来高検査・・・工事施工途中において、その時点での出来高に応じて契約金額の対価を支払う必要があるときに行う検査。
- ・中間検査・・・工事施工途中において、必要に応じ行う検査。
支払いは伴わない。

【参考】 工事担当課による検査件数（契約金額が１０万円超・１３０万円以下）

表－３

年度	件数	内 訳
H29	512	道路管理課238、教育総務課120他
H30	463	道路管理課222、学校施設課67他
R1	449	道路管理課239、学校施設課68、みどりの課47他

(3) 工事発注課別の完成検査件数

令和元年度は、「西平井・鯖ヶ崎区画整理事務所」が「まちづくり推進課」内に組織改編されたため、件数は「まちづくり推進課」に加算しています。

表－４

１３０万円超

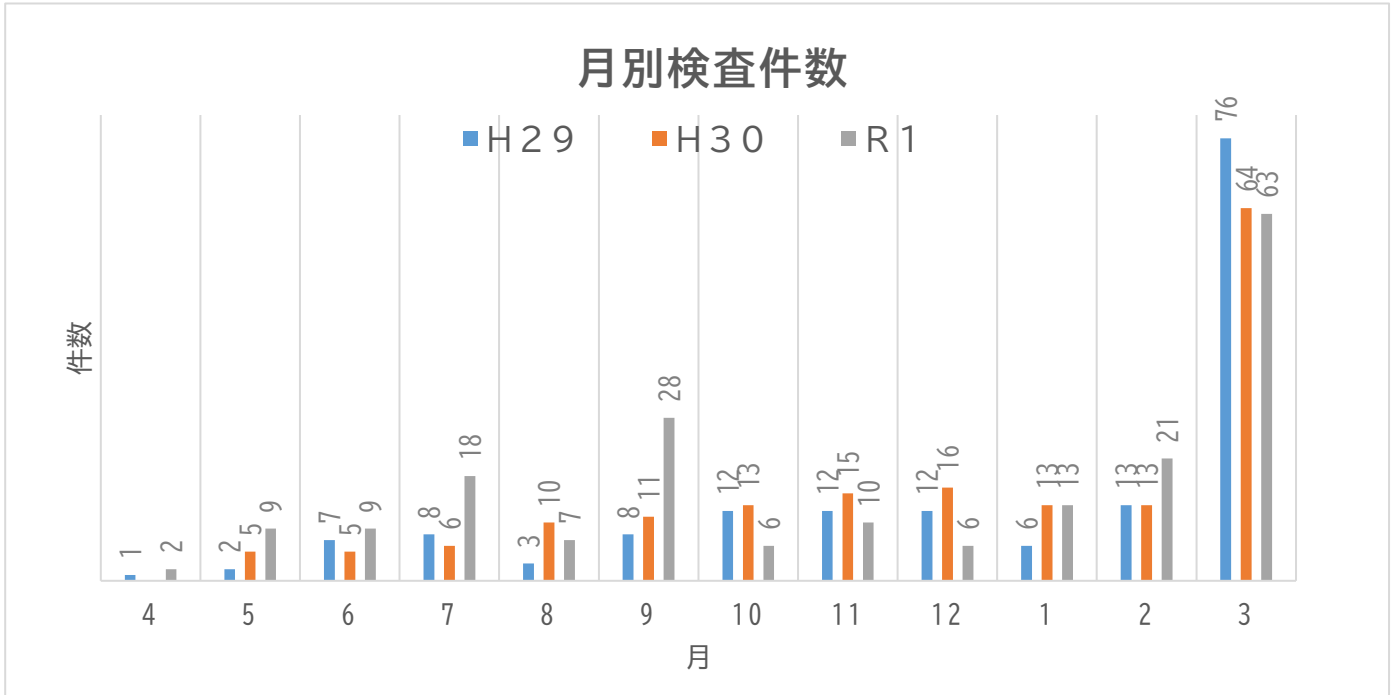
	工事発注課等	H30		R1	
		件数	割合：%	件数	割合：%
1	学校施設課	25	14.6	37	19.3
2	水道工務課	29	17.0	34	17.7
3	下水道建設課	29	17.0	22	11.5
4	道路管理課	13	7.6	22	11.5
5	まちづくり推進課	4	2.3	18	9.4
6	みどりの課	12	7.0	15	7.8
7	社会福祉課	4	2.3	6	3.1
8	防災危機管理課	2	1.2	5	2.6
9	消防総務課	—	—	4	2.1
10	道路建設課	7	4.1	4	2.1
11	財産活用課	—	—	4	2.1
12	スポーツ振興課	—	—	3	1.6
13	河川課	5	2.9	3	1.6
14	教育総務課	9	5.3	3	1.6
15	図書・博物館	—	—	2	1.0
16	その他	32	18.7	10	5.2
	計	171	100	192	100

※その他の内訳：財産活用課4件、保育課2件、公民館2件、その他5課

(4) 月別完成検査件数
3年間の月別完成検査件数を比較しています。

検査は年度末に集中してます。
工事発注時期、検査時期の平準化が必要です。
令和元年度3月の完成検査は、63件で全体の約33%でした。

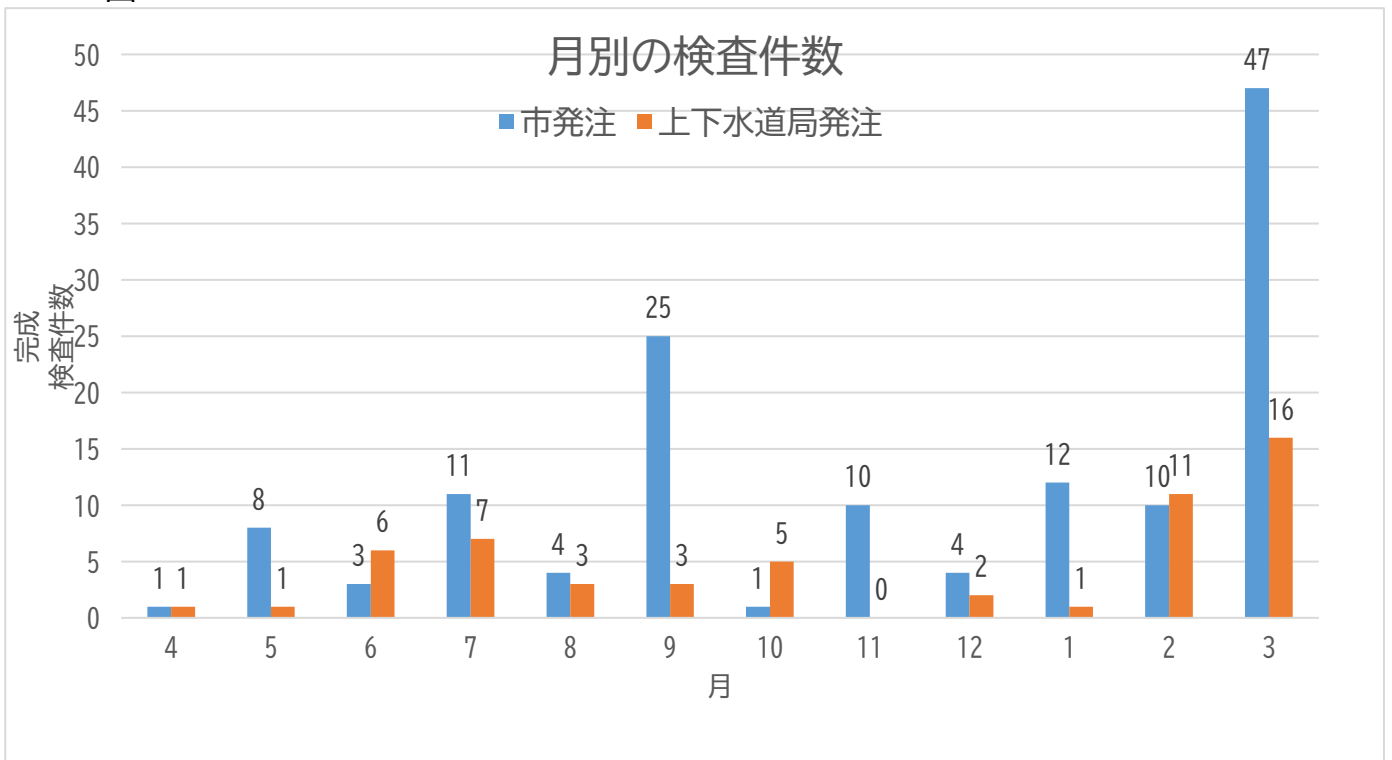
図-1



(5) 市発注および上下水道局発注の月別完成検査件数

7月、9月に増加傾向があります。
令和元年度3月の完成検査は、市発注が47件で約35%、
上下水道局発注が16件で約29%でした。

図-2



3 工事成績評定

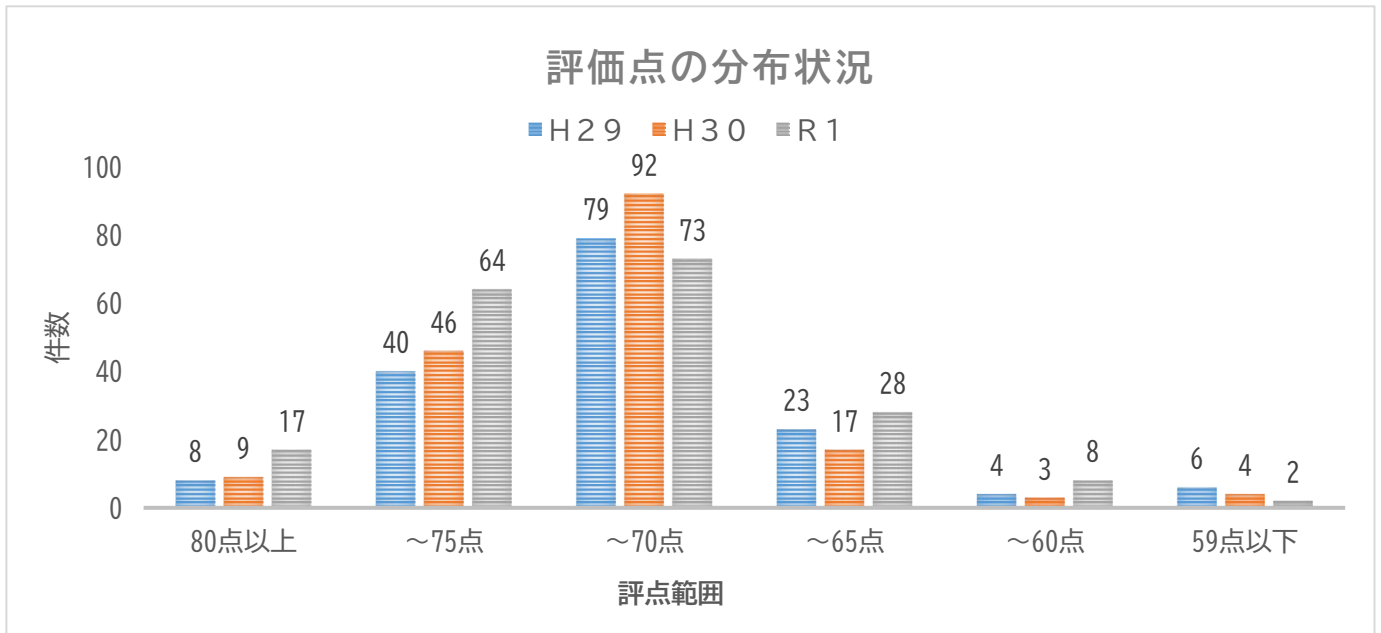
(1) 評価点の分布

令和元度は75点以上が増加しています。

表-5

	年度	80点以上	~75点	~70点	~65点	~60点	59点以下	計
件数	H29	8	40	79	23	4	6	160
	H30	9	46	92	17	3	4	171
	R1	17	64	73	28	8	2	192

図-3



(2) 工種別の評価点分布

表-6

工種	評価点						R1 平均点	H30 平均点
	80点以上	~75点	~70点	~65点	~60点	59点以下		
土木一式工事	10	15	16	5	3	1	74.3	73.6
建築一式工事	—	6	10	5	2	—	71.9	70.4
とび・土工・コンクリート工事	—	2	8	2	1	—	71.5	72.2
電気工事	—	—	4	5	—	—	69.1	71.6
管工事	3	25	13	4	1	—	74.9	72.9
ほ装工事	4	11	8	3	1	—	74.5	74.8
塗装工事	—	—	—	—	—	—	—	74.5
防水工事	—	2	2	—	—	1	71.2	69.0
機械器具設置工事	—	—	2	—	—	—	72.5	66.5
電気通信工事	—	—	—	—	—	—	—	—
造園工事	—	3	7	2	—	—	71.5	72.4
さく井工事	—	—	—	1	—	—	69.0	78.0
消防施設工事	—	—	2	—	—	—	72.0	—
解体工事	—	—	—	1	—	—	68.0	67.0
水道施設工事	—	—	1	—	—	—	72.0	—
計	17	64	73	28	8	2	73.4	72.9

各工種とも評価基準点65点に対し平均68点以上となっています。

令和元年度は前年度より平均点が0.5ポイント上昇しています。

【参考】 過去5年間の平均点推移

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
平均点	76.2	72.3	72.7	71.9	72.9	73.4